

民具から読み解く地域文化



昔から人々の暮らしを支えてきたモノを民具と呼びます。富士山周辺で営まれてきた生産生業・生活の場で使われた民具を見ると、おもしろいほど地域の特徴があらわれています。

そして、それは過去から未来につなげて我々がどのように暮らしていけばよいのかを示唆してくれる可能性を持っています。地域の方から民具の使い方やそれにまつわるお話をうかがうと、その背景や地域の歴史を知る楽しさにつながります。その魅力をお話したいと思います。

講師 **外立 ますみ**

神奈川大学・常葉大学非常勤講師
富士宮市史執筆員

武蔵野美術大学造形学部工業工芸デザイン科卒業。神奈川大学・常葉大学で非常勤講師、文部科学省文化審議会専門委員を務める。

「ものづくり」「立体デザイン」の視点から、民具、物質文化についてフィールド・ワークをおこなう。富士宮市史執筆員として『富士宮の歴史 民俗編』では民具関連の調査・執筆を担当した。最近では、南アルプス南麓の井川集落(静岡県葵区)にて「井川民具の会」の発起人の一人として、民具収集・整理・調査研究にあたっている。

富士市歴史民俗資料館 展示イラストパネル、南アルプスユネスコエコパークミュージアム「自然と共生してきた井川の暮らし」展示パネル監修。国の重要有形民俗文化財の指定事業では、岐阜県揖斐郡徳山村、東京家政大学、沼津市、北海道沙流郡平取町、埼玉県行田市、山梨県富士吉田市などに参加。

日時

2026 年 **9 月 26 日 (土)** 14:00～15:30 (開場 13:30)

会場

駅前交流センターきらら 集会室 (富士宮市中央町 5 - 7)

定員

80 人 (先着順)

入場料

無料

【申し込み】



👉 Web 申込はこちら

8 月 24 日(月)から電話・WEB サイトで受付

電話

0544-22-1187 (富士宮市文化課 平日 8:30～17:15)

WEB

<https://logoform.jp/form/GgrE/1628817>

関連展示

富士宮の民具 ー生産の道具からー

『富士宮の歴史 民俗編』の調査で採録した民具のポスター展示を予定しています

会場：富士宮市立中央図書館 2 階

期間：9 月 2 日から 9 月 27 日まで